

なにわ エコウェーブ



編集・発行
なにわエコ会議

[なにわエコ会議事務局]

〒559-0034

大阪市住之江区南港北2-1-10

ATCビルITM棟11F西

NPO法人イー・ビーイング内

TEL:06-6614-2219

FAX:06-6614-1801

E-mail:info@naniwaekokaigi.org
http://www.naniwaekokaigi.org

パートナーシップで
止めよう地球温暖化

協力: 大阪市



SDGs 暮らしの中でできること

イラスト: どうかい めぐみ Megumi

最近よく見かけるカラフルなロゴ。これはSDGsといって、2015年に国連サミットで採択された、持続可能な開発目標「Sustainable Development Goals」です。

SDGsについて、私たちひとりひとりひとりができるることはたくさんあります。一部を紹介しましょう。



- 請求書が来たら、銀行窓口ではなく、オンラインかモバイルで支払おう。紙を使わなければ、森林を破壊しなくて済む。
- オンライン検索すると、持続可能で環境にやさしい取り組みをしている企業が見つかるよ。そういう会社の製品を買うようにしよう。
- 肉や魚を控えめに。肉の生産には植物よりも多くの資源が使われているよ。
- できるだけ簡易包装の品物を買おう！

- 買い物は地元で！地域の企業を支援すれば、雇用が守られるし長距離トラックの運転も必要なくなる。
- 詰め替え可能なボトルやコーヒーカップを使おう。無駄がなくなるし、コーヒーショップで値引きしてもらえることも！
- 買い物にはマイバッグを持参しよう。レジ袋は断って、いつもマイバッグを持ち歩くようにしよう。
- 使わないものは寄付しよう。地元の慈善団体は、あなたが大事に使っていた衣服や本、家具に新しい命をふきこんでくれるはず。

「もうやってるよ！」という声が聞こえてくるようです。SDGsを身近に感じながら、できることをひとつずつ、無理なく楽しく続けていきましょう！

詳しくはこちらをご覧ください。⇒
「持続的な社会のために、ナマケモノにもできるアクションガイド」
国連広報センター



なにわエコ会議は4つの部会で活動しています そのひとつ、2019年に誕生した部会をご紹介します

■ 生物多様性部会

私の生物の原風景は、潮だまりの美しい魚たちです。

小学3年のとき、父親に千葉房総半島南端の千倉に連れて行ってもらいました。ここは黒潮が接近し、南の海に生息する魚が多く見られます。ソラスズメダイだったと今思いますが、潮だまりに泳ぐコバルト色の小魚の群れに感激しました。

それもあって東京水産大学（現：東京海洋大学）に進学し、卒業後は、環境測定の団体に入りました。

業務では、河川水生生物を水質指標とする調査を担当し、色々な文献を読み、専門家の人に教えを請いながら現場での採取・観察をする中で、水生生物が様々ななかたちで環境に適応して成長することを知りました。

これまで様々な団体の河川水生生物観察会での指導もしましたし、定年後の今でも、集めた生物の標本を展示したり、実際に河川に行って参加者とともに観察をしたりしています。

子どもも大人も、ふだんは虫や花をじっくり見たり触れたりする機会がほとんど無いので、これでは将来自然の面白みや大切さを感じたりします。

部会長 富平 純

じる人が少なくなると危惧します。

生物の魅力を伝える自然観察会等の啓発活動を続けなければと勝手に思っています。自然観察等、お役に立てれば幸いなので、ご連絡ください。



【環境省環境カウンセラー、日本自然保護協会自然観察指導員、環境アセスメント士、大阪環境カウンセラー協会員、兵庫陸水生物研究会員】

■ エコパートナー

住谷 章

本年「なにわエコ会議」に入会しましたが長年にわたり「なにわ子ども育成会」で活動しています。

この会は2005年に子どもと保護者が一緒に参加して自然体験を行う会として設立しました。当初に参加した子どもが大学生となり、今では彼らが指導者として活躍してくれています。

関西各地で年数回の日帰り及び宿泊体験を行い、海・山・川や空(星)の自然を体感して、自然環境を守ることの大切さを伝えています。

参加した子どもたちが将来、自分たちで自然環境を守る取り組みを実践することを願っています。



◆活動紹介

図書館で河川水生生物の展示や講演会を開催。20年度は大阪市内の5つの図書館での移動展示です。



浪速図書館での展示と講演会

南港ATCで開催された咲洲こどもEXPOでは、2日間で450名もの方に見ていただきました。



咲洲こどもEXPOでの展示と説明



なにわエコ会議
LINEスタンプより

発足当初からの部会のメッセージやトピックス

■ 環境教育・啓発部会

ちょっとおしゃれな脱プラ生活しませんか？

ほうきやちりとり
<軽い&騒音なし>
朝でも深夜でも思い立ったらすぐに掃除ができます。
掃除機を出すのがちょっと面倒な時にも。



折箱
絆木は食品を保存するのに適しています。
水分を適度に吸い取り、いい香りで、殺菌効果もあるそうです。



バケツ、たわし、へちまなど
非プラ製品に囲まれると、心地よく、レトロでおしゃれな雰囲気になります。



植木鉢
屋外で使うものは、
非プラを。
プラスチックは日光
や雨風で風化しマイ
クロプラスチックとな
って海へ。



■ 環境に配慮した企業部会

オンラインによるEA21スクールの開催

環境に配慮した企業部会では、毎年、EA21を導入する事業者向け勉強会を開催しています。

今年は第1スクールに10社、第2スクールに8社が参加し、講師として計30名以上の大坂環境カウンセラー協会のEA21審査員が支援を行いました。

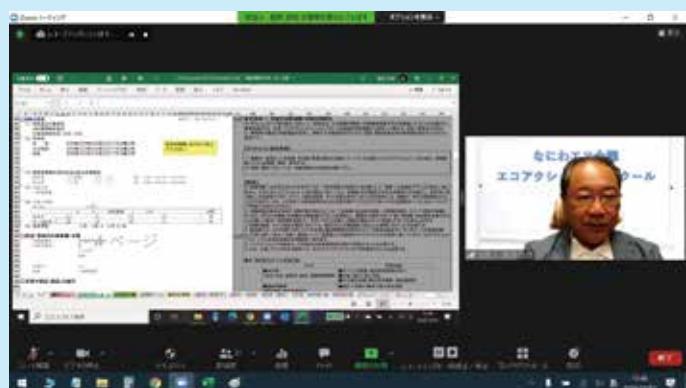
新型コロナウィルスによる感染予防のため、すべてオンラインでの実施です。前半は全員で講師から説明を受け、その後ブレイクアウトルームで、各事業者に丁寧に個別支援を行いました。

初めてのオンラインスクールでしたが、スムースに進めることができ、新しい支援方法を確立できました。集合研修に比べ、会議室利用料の出費もなく、移動に伴う時間と交通費が節約でき、個別支援も事業者が用いる資料を画面共有して進めることができるなど、メリットの方が勝っています。

新たなビジネスモデルができましたので、次年度もオンラインで実施する予定です。



参加事業者と講師（ひとつの画面に入りきりません）



エコパートナー飯田講師による説明

次号ではもう一つの部会、エコライフ部会をご紹介します

2020年度新エコパートナー企業の環境取組み

IKEA鶴浜

イケアでは、循環型経済と気候変動に対して前向きに取り組みを行い、地域社会にポジティブな影響を与えていきたいと考えています。

サステナブルなフードを通じてビジネスを実現するという目標に、イケアの象徴ともいえるミートボールの取組みを紹介します。

ミートボールと言えば、サーモンと同じくイケア発祥の地スウェーデンでは国民食の1つです。

このほど同社では、このミートボールのよりサスティナブルな選択肢として、クライメートフットプリント(*1)を従来の肉由来のたった4%ほどの商品「プラントボール」を生み出しました。

イケアは気候変動においてもポジティブな変化を生み出したいと考えています。2030年までにバリューチェーンの温室効果ガス(GHG)の削減量が排出量を上回ることを目指しています。

同社の各店舗のレストラン等で、この10月より販売がスタートしました。プラントボールは、肉の代わりに植物由来の原料(黄エンドウ豆由来タンパク質、オーツ麦、ジャガイモ、タマネギ、リンゴ)を使用し、味や食感を妥協せず、見た目も味も肉にそっくりな新商品です。

プラントボールを通じて、イケアは人と地球にポジティブな影響をもたらし、よりサステナブルな食習慣とライフスタイルのきっかけをつくりたいと考えております。サステナブルな未来をつくり上げるため、イケアの食品事業の全商品のうち20%の商品を2022年までに植物由来食品にすることを目標に掲げています。

イケアと一緒にサスティナブルに暮らしませんか？
IKEA鶴浜で皆さまのお越しをお待ちしております。



(*1) プラントボールなどのイケアが取扱う商品のクライメートフットプリントは、温室効果ガス(GHG)排出量で換算され、原材料の生成や加工、製品の製造と輸送、イケアのストア、お客様のご来店、お客様のご自宅での製品の使用、製品の寿命の終わりまで、イケアのバリューチェーンのすべてが含まれます。食品に対する温室効果ガス(GHG)排出量は主に使用する原料によるものです。

事務局からのお知らせ

なにわエコパートナーを募集しています

*「なにわエコ会議」に参加して、家庭・職場等における省エネ運動や出前講座などの環境教育・学習の支援、環境マネジメントシステムの普及など地球温暖化防止等の取り組みを、一緒に勉強し、実践しませんか。

* 詳細は、なにわエコ会議ホームページをご覧ください。<http://www.naniwaekokaigi.org>



●なにわエコ会議のシンボルマーク

たこ焼きを地球儀にみたて、そこに大阪城、通天閣、海遊館を配置することによって大阪らしさを強調し、パートナーシップの力と大阪人の創意工夫で地球温暖化にストップをかけようという願いを込められたものです。

出前講座をご活用ください

*「出前講座」に食品ロスカードゲームなどの新プログラムが加わりました。

プログラムは、ホームページに掲載しています。

皆様の力をなにわエコ会議活動で発揮しませんか

*なにわエコ会議では、「エコライフ部会」「環境教育・啓発部会」「環境に配慮した企業部会」「生物多様性部会」が中心となり、様々なイベントに取り組んでいます。

参加希望者は、事務局までご連絡ください。

なにわエコウェーブ Vol.30

■発行 なにわエコ会議

■編集 なにわエコ会議 事務局

〒559-0034

大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビルITM棟11F

特定非営利活動法人 イー・ビーイング内

■TEL : 06-6614-2219 FAX : 06-6614-1801

■E-mail info@naniwaekokaigi.org

■HP <http://www.naniwaekokaigi.org>

■Twitter <https://twitter.com/naniwaekokaigi>